

アンケート項目（患者様・ご家族、担当ケアマネジャー共通）		患者(家族)様			ケアマネジャー		
		はい	いいえ	無回答 その他	はい	いいえ	無回答 その他
1	初期評価表・経過報告書についてご存じか？ 内容は分かりやすいか？	37 (90%)	4 (10%)	0 (0%)	26 (93%)	2 (7%)	0 (0%)
2	初期評価表・経過報告書に治療目標が記載されていることはご存じか？	30 (73%)	11 (27%)	0 (0%)	20 (71.5%)	8 (28.5%)	0 (0%)
3	治療目標の記載は必要か？目標設定により良い結果が出ると期待されるか？	34 (83%)	7 (17%)	0 (0%)	24 (86%)	4 (14%)	0 (0%)
4	報告書に治療目標の達成度について考察を記載しているが、十分な説明が得られているか？	32 (78%)	7 (17%)	2 (5%)	24 (86%)	4 (14%)	0 (0%)
アンケート項目（患者様・ご家族のみ）							
5	目標を掲げることで、昨年と比べてスタッフの対応や施術に変化が見られたか？	20 (49%)	13 (31.5%)	8 (19.5%)			
6	担当スタッフから、治療目標、施術方針・内容についての説明はあるか？	26 (64%)	3 (7%)	12 (29%)			
アンケート項目（担当ケアマネジャーのみ）							
5	訪問マッサージの治療目標の設定、定期的な経過報告により、ケアプラン作成において役に立つと思うか？				28 (100%)	0 (0%)	0 (0%)
6	初期評価表において、希望するアセスメントシートや様式があるか？				0 (0%)	28 (100%)	0 (0%)

アンケート項目（訪問スタッフ）		はい	いいえ	無回答 その他
1	初期評価表・経過報告書について、担当患者様の記載内容を必ず確認しているか？	14 (93%)	1 (7%)	0 (0%)
2	初期評価表(院長作成)の内容を理解し、自分の施術へ十分に反映できているか？	14 (93%)	1 (7%)	0 (0%)
3	治療目標の記載は必要か？目標設定により施術へ良い結果が出ると思うか？	14 (93%)	1 (7%)	0 (0%)
4	患者様に対して、2か月ごとの治療目標を掲げているが、施術結果に今までと違った変化が見られたか？	9 (60%)	3 (20%)	3 (20%)
5	自分の担当する患者様において目標設定がしっかり図れているか？ 結果分析ができているか？	13 (87%)	2 (13%)	0 (0%)
6	患者様やご家族から、治療目標、施術方針・内容について質問されるか？ 質問は増えたか？	2 (13%)	13 (87%)	0 (0%)

ご意見・自由記入欄(患者様・ご家族)

1	いつも丁寧に対応をして頂き、もうそれだけでも目的は達成されているのではないのでしょうか？
2	専門家からの目標設定は有難いです。
3	目標や達成度などは、文書だけではなく口頭で伝えて欲しい。本人に意識させるため、繰り返し何度も説明して欲しい。
4	マッサージは目標に向かって頑張る感じではないので、目標の記載は特に要らないのではないかと。(複数人から回答)
5	マッサージ師さんの施術や対応の変化、目標については分かりません。施設なので、本人に会う機会が少ない。(複数人から回答)
6	目標が掲げられているので、以前よりもマッサージ師さんと親しみやすくなった。
7	目標が達成されたかの振り返り、評価は良い取り組みです。目標はあっても、定期的な評価が無いと思っていましたから。
8	目標については、文章ではなく箇条書きで、優先順位を付けて簡潔に書いて欲しい。
9	報告書は担当医へ提出するものなので、家族へは目標と経過・結果とを対称表にして書いてもらえると有難い。
10	目標は必要だが、中々結果が出ない。人によっては対応の仕方がまちまち。丁寧な指導を求む。

ご意見・自由記入欄(担当ケアマネジャー)

1	ケアプランも目標を持って作成しているので、共に目標を持って取り組めると良いと思います。
2	治療目標や報告内容については、ご利用者様、ご家族様について説明の理解が乏しい方もいるので、ご配慮下さい。
3	治療目標が書かれていることで、ご本人の意欲・ご家族の安心に繋がると思います。ご利用者と目標の共有ができるとうい。
4	目標があることで、ご利用者さんも良くなったことが実感でき、生活意欲にも繋がると思います。
5	訪問マッサージの報告書は、ご本人の状態の共通認識、モニタリング時の聞き取りなどに活用しています。
6	治療目標の記載や状態についての説明により、本人の弱い所などを把握できる。(ケアマネのモニタリングでは座位しか見てないため)
7	専門職の的確な意見を頂くことで、課題が見えてくることは多く、情報を共有することでケアプラン作成に有効と考える。
8	目標達成できたからといっても、本人が続けて欲しと言われれば、目標はあってないものではないか。
9	痛みの緩和や拘縮等は、すぐに効果や結果が出るものではないため、報告書で十分な説明ができないのではないか。
10	文章の内容が濃く作成されていますが、専門用語が多く、介護の勉強しかしていない私達には難しい時もあります。

ご意見・自由記入欄(訪問スタッフ)

1	治療目標が具体的(現実的)であるほど、施術に何が足りないか、何が不要か考えるため、訪問時間の有効活用に繋がると思う。
2	目標における効果判定(動作確認など)を定期的実施する習慣が身についたことで、より結果にシビアになりました。
3	進行性疾患や廃用進行などで、ご家族の希望と患者様の状態との乖離が大きくなると、現実的目標とすべきか、希望的な目標とすべきか迷うこともあります。患者様の望みが違うものであったりすると、目標に達しにくく、分析なども難しくなります。
4	寝たきりの方やマッサージのみの方などでは目標設定が難しい。数値化などの明確な目標を立てやすい、立てにくい方がいます。(複数人から回答)
5	一つでも目標を考えながら施術に取り組むと、次回はこうしよう、もっと〇〇を重点的に施術しよう、など次に向けて取り組む目標が明確になりました。
6	目標設定は最初、高く設定しがちになり、達成がなされないと、今度は目標を低くしてしまう傾向があります。
7	頭で考えて分析するようになり、変化が見られないようであれば、再度分析して筋道を立てるという流れができ、ここが自分の大きく変わったところだと思います。
8	以前よりも積極的にこちらの意図を患者様に伝えるようになりました。訪問の流れを追いやすくなりました。
9	患者様やご家族から治療への質問が少ない理由として、評価表や報告書の内容が難しい、文章以外に伝える工夫が必要と思いました。
10	治療目標に縛られ、その都度訴えられている症状を軽視しないように気を付ける必要がある。目標を追い過ぎると、患者様主体から外れてしまい、無用な負担も与えてしまう可能性がある。